

2014年3月度  
モニター★プラネット

ご参加各位

風はまだ冷たいですが少し春めいてきました。

3月3日より開始のモニター★プラネット  
3日間経過いたしました。  
ボチボチですか。

1本のラインでのトレードの成果はいかがでしょう。

3日間で6連勝の方が8名、  
8連勝の方は5名、デモ残高の画像を添付して  
ご連絡頂きました。

『結構やるジャン！』が印象です。  
心理的にデモの気軽さよりも連勝のプレッシャーを  
リアルと同レベルにしたのが「連勝」の企画です。

3連勝くらいはどなたも出来ますが、4連勝・5連勝  
になるとさすがに慎重にならざるを得ません。

人間の心理とは不思議なもので情報が多いと安心  
出来ますが反面油断が生じます。

逆に情報量が少ないと不安にかられますが、その  
不安を払しょくする為に「手掛かり」を探します。  
そして予測をします。

テレビとラジオみたいなもので、一目で情報が  
飛びこんでくるテレビに対して音だけの世界の  
ラジオでは想像するしか手立ては有りません。

為替トレードにとってどちらが有利かは論を待たず  
して情報料の多いテレビです。

理由はプロの世界では一人6枚くらいのモニターから情報を得ているからです。

情報の処理能力の高いレベルのプロの世界の話です。

では個人の投資家ではいかがでしょうか。

1本のラインでなぜ、8連勝（3月5日現在）も出来るのでしょうか。

その方は通常のチャートでの勝率は65%と聞くに及びます。

ここにヒントがあります。

1本のラインからの情報では最初は何も見え無かったのですが遠くから近くから見て行くうちに

「なるほど」がトレード結果で分かったのです。

45度の角度のラインでもストレートのラインやギザギザのラインや曲解するラインもあり結果はそれぞれ異なる事が分かったのです。

1本のラインのスペシャリストになろうとした努力が8連勝に繋がったのです。

1本のラインの中身を知ろうとすることが結果的に予測になります。

①為替の原理原則である。円が上昇して円高になれば、こぞって円がらみの通貨ペアが下降します。（ドル円・ユーロ円・ポンド円）したがってポンド円を狙いうちにすれば、1本の円のラインが上昇したらポンド円の下降をエントリーすれば良い事になります。

②エントリーのタイミングはラインの角度です。

ヨコ軸の時間とタテ軸の価格によって生じる  
現在値は斜軸で表示されます。

野球のホームランバッターの飛距離の出る  
打ち出し角度は45度です。つまり滞空時間  
と飛距離が最も長いからホームランになる  
のです。

為替と野球は関係有りませんが為替の  
ラインチャートを見れば分かる通り  
緩やかな角度はレンジで急角度は荒れた  
相場です。

トレンドの角度はいずれも45度です。  
トレンドのチャートは美しい・・・の所以です。

したがってエントリーのタイミングはその  
角度のラインの中で行えば良い事にな  
ります。

③連勝はどのようにしたら出来るのか。

エントリーのタイミングは角度を知れば・・・。

勝てるとばかり・・・

目を凝らして角度を探すのは『バカボン』の  
世界です。滑稽ですね。

勝つ為に為替に投資をするならば連勝は  
当たり前では無いでしょうか。

FXで1勝9敗でも収益が上回れば勝ちなぞ  
とは絵空事であり9敗によって受ける  
心因的なダメージは通常的生活にさえ影響  
しかねません。

勝って当たり前のロジックを確立してこそ  
規模は別として為替の世界に生き残れる

唯一の方法です。

連勝をするには予測です。

現在地（値）から45度の角度がどこまで  
継続するのか予測するのです。

予測と予言と予知は違います。

予測は現在の結果のデータに基づいて  
解析して次の展開を測ることです。

つまり直近の高値安値やキリの良い価格  
あるいは変動幅、マーケットの時間帯  
ファンダメンタルス（経済指標の発表等）  
等を含めて予測するのです。

特に大切なのは市場で注目される高値安値  
でありキリの良い価格です。  
そしてテクニカルで言うボラティリティー  
（変動幅）です。

それにもまして重要なのは・・・・。  
マーケットの時間帯です。  
もっと視点を変えて言わせて頂ければ  
その国の生活の時間帯です。

当方のトレーダーは東京・ロンドン  
ニューヨークの時計と天気予報を絶えず  
見えています。  
天気予報と為替は何で関係が有ると思  
われる方もおられると存じますが。

生活における天気はどここの国も共通して  
関心が有ります。

日本の夜中の22時は一般的には  
就寝に入る時間帯です。

ロンドンでは昼の13時 (雨模様)  
ニューヨークでは朝の8時 (大雪)  
昨日のダウ平均は下降でドル安  
ロンドンの株市場は軟調材料なし。

これで夜中の22時どれだけのアクションで  
為替相場は動くでしょうか。

マーケットの時間帯としては捉えた場合は  
活況を呈する時間帯ですが、相場環境は  
活況を呈するには心もとない状態であり  
投資家の心は天気と同じで雨模様です。  
つまり投資家は生活者でも有るわけです。  
トレンドが形成しづらい状況と言えます。

そうとも知らず、22時はロンドンとNYの  
マーケットが重なる時間帯とばかり  
前のめりになる「単細胞屋さん」はいませんか。

日本の20時はロンドンでは昼の11時  
少し早目のランチです。  
この時間帯にトレンドになるでしょうか。

時間足によってトレンドの形成は異なるから  
短い時間足ならミニトレンドが形成する。  
だから1分足ならば出たところ勝負でも良い  
と反論を頂きそうですが・・・。

勝つ事が目的で有る投資において、あえて  
不確定なところでリスクをとる必要は  
有るでしょうか。  
市場参加者が多く活況を呈する場面で  
トレンドが長く形成され続く状況の中で

トレードすることは、最も優位性の有る  
トレードと言えます。

為替の必勝法が有るならば  
一に防御、二に攻撃ですが、攻撃には  
リスクが伴います。  
そのリスクを最小限にとどめる場面を  
探すことこそが為替投資の極意と言えます。

これが予測です。

勝ち続けることこそが成功の証です。  
連勝記録を塗り替えるくらいチャートの  
裏側の投資環境を覗いて下さい。

3月3日でスタートして本日で4日目、為替のトレードは  
5日間サイクルで検証・反省・対策・実行を繰り返さないと  
1ヶ月は簡単に終わってしまいます。

年間12回の反省では1年は簡単に終わってしまいます。  
5日間サイクルとは月曜日から金曜日までで土日に  
検証を行い、月曜日の最初のトレードを勝つことから  
始めます。

前の週に5万円の損失が有れば、今週の5日間に  
1万円ずつ分散して今週の利益の上に乗せます。  
負けの回収にあせらず今週の利益を確保しながら  
先週の負けを1万円ずつ回収します。

冷静で有る事、心、穏やかで平常心で有る事  
対策通りで有る事、あせらない事。  
心85%手法15%で勝敗を左右する為替の世界では  
心因性の部分をご自分でコントロールする事が  
最も大切な事かと存じます。

それでは皆様、明日一旦締め切って検証されて下さい。  
レポートは10日間サイクルですが、コメントはいつでもお寄せ下さい。  
但し、質問はモニター様が100名おられますのでご回答は  
ご遠慮させていただきます。

以上、宜しくお願いいたします。

---

PLANET HOME

勝利のプラネットチャート「モニター★プラネット」

事業部 杉田

ホームページ <http://planetin.net/>

メールアドレス [support@tenplanet.com](mailto:support@tenplanet.com)

---